

### ◎ 特別区設置の意義・効果（大阪がめざす特別区）

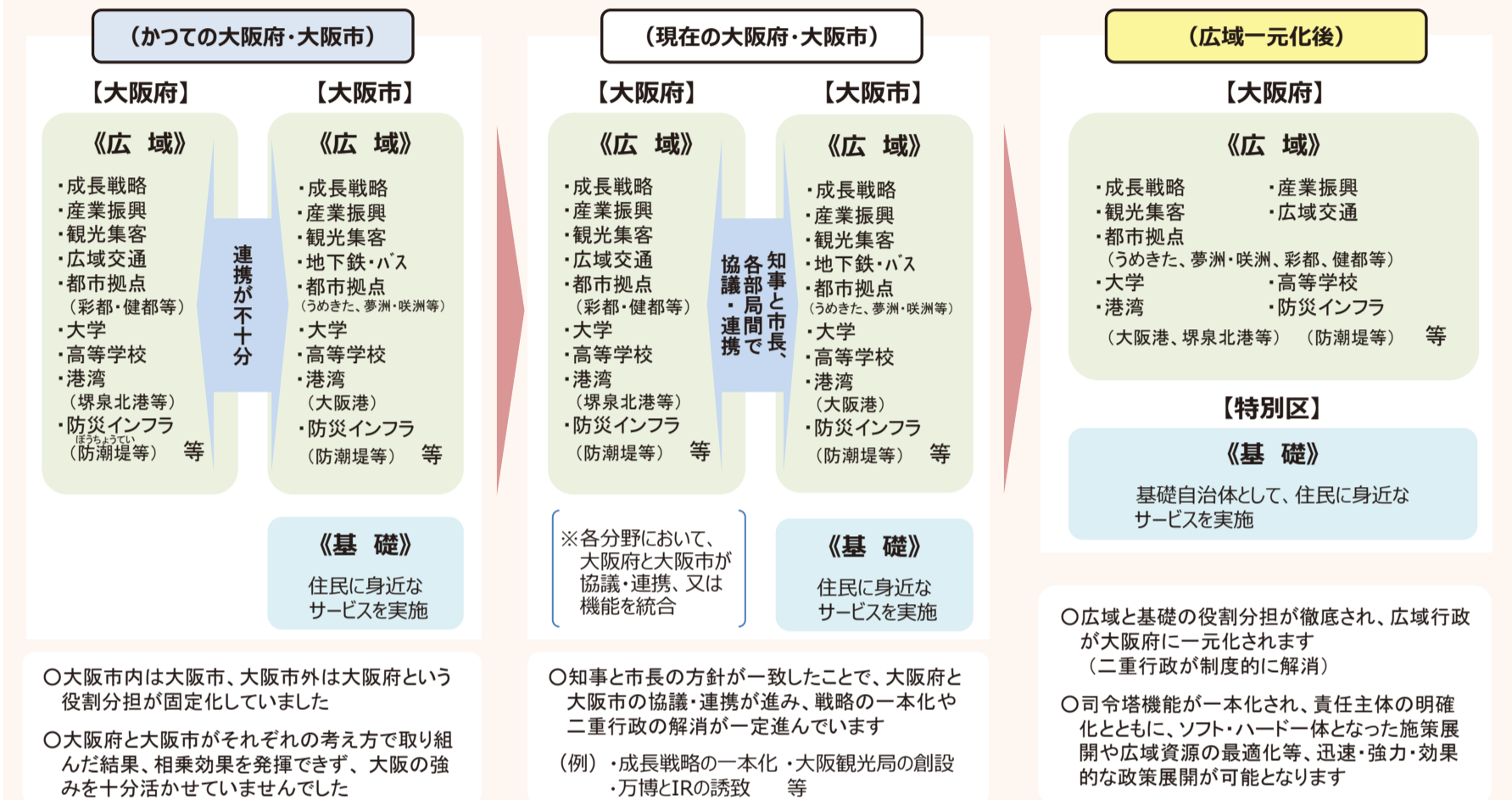
#### 広域機能の一元化・二重行政の解消による都市機能の強化

- 広域機能を大阪府へ一元化し、都市機能の整備を迅速・強力かつ効果的に推進していきます。

#### 住民に身近な公選区長・区議会による基礎自治機能の充実

- 地域のニーズに沿った身近なサービスを決定・提供できる大阪独自の「特別区」を設置し、豊かな住民生活を実現していきます。

### ■ 都市機能の強化 ～広域機能一元化による効果(役割分担<イメージ>)～



◆ 広域機能を一元化することで、迅速・強力かつ効果的な政策展開ができ、大阪の成長を将来にわたって確固たるものにしていくことが期待できます。

### ～ 広域機能一元化の具体的事例 ～

#### 《 経済成長 》

◆ 経済成長に係る機能(産業・観光・広域インフラ・雇用等)が一元化され、より迅速・強力かつ効果的な成長戦略が可能に◆

広域で一体的に推進し持続的な成長を実現

成長戦略の具体化の推進 (イメージ)

##### ◆ 産業振興の政策の一元化

・成長分野の産業振興や企業立地促進を図り、研究開発から市場化、販路開拓までトータルな支援

##### ◆ 広域インフラの整備・活用促進

・空港・港湾や道路、産業用地など産業活動促進にとって重要なインフラを整備

広域で一体的に推進し  
持続的な成長を実現

##### ◆ 観光集客促進の一元化

・広域的なプロモーションや都市魅力創出などを図り、経済効果を創出

##### ◆ 雇用創出・人材育成の促進

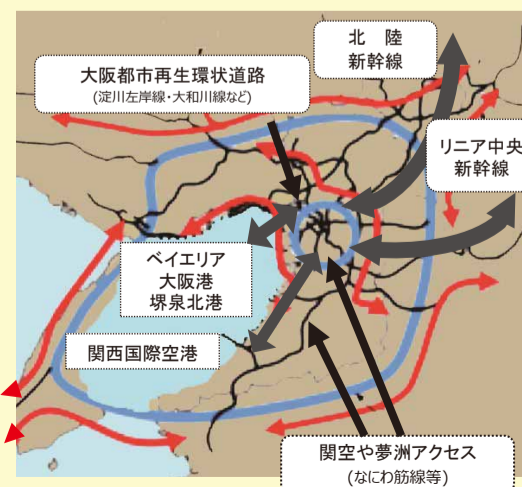
・大阪の人材力を強化し、生産性の向上や雇用の流動化に対応

#### 《 広域交通ネットワーク 》

◆ 圏域全体を見据えた権能(計画・整備・調整)が一元化され、広域的な視点から強力な整備推進が可能に◆

広域的な視点から広域交通網を整備

広域交通ネットワークの整備 (イメージ)



##### ◆ 主な開業見通し ◆

- ▶ なにわ筋線  
・2031年春開業目標
- ▶ リニア中央新幹線  
・2045年開業予定を最大8年前倒し
- ▶ 淀川左岸線延伸部  
・事業着手から概ね15年
- ▶ 北陸新幹線敦賀以西区間  
・2031年着工、2046年全線開業見通し

※上記事例は、大阪府・大阪市の連携が進んだことなどにより、事業化に向けた取り組みや事業推進が図られています。